



UNIVERSITY

1957

開学記念祭

第八回

神戸大学開学記念祭

1957. 5. 15, 16
六 甲 台

第一日 (15日)

記念式典 10時 講堂
大園遊会 11時半 前庭
記念講演

音楽と演劇 I 1時半 講堂

弁論大会 2時 102教室

第二日 (16日)

音楽と演劇 II 10時 講堂

宗教講演 宗模 擬法 延 306 教室

フォークダンスの夕 6時 前庭

展示その他 (15・16日)

凌美展 教職員食堂

写真展 会議室(3階)

生花展 教職員食堂

学生新聞展 学舎2階

「理想の神大」展 230 教室

ストロンチウム「90」展

野点 12時～6時 前庭

スポーツ 15・16日

グラウンド・コート・武徳殿

前夜祭 14日夜 各学舎

ダンス・パーティー 15日・5時 神戸織維会館

記念祭の歌(その一)

吉田哲郎 作詩・作曲

一、緑の息吹きささやく丘に
我らが祭典めぐり来る
友よ祝えや手を打ちて
喜びを共に

我らが大学の今日を楽しく
喜びを共に

二、明日の希望に満てる所
我らが祭典めぐり来る
友よ歌えや肩組みて
喜びを共に

我らが大学の今日を明るく
喜びを共に

記念祭の歌(その二)

原元富雄 作詩
津田昌男 作曲

青き瀬戸の海
緑 武庫の山
ほどよき自然の庭
美しき窓のあまた 連ねたる
若き日の故郷
神戸大学此処にありて 輝く
此処にありて
永遠に輝く

御挨拶

第八回開学記念祭実行委員長

前田武和

第八回開学記念日を迎えるにあたり、茲に祝辞を送ります。

第七回開学記念祭より今日に至る一年間私達の学生生活は実に目まぐるしく展開いたしました。私達の平和と独立を希求し民主主義と学園の自由を守る自治活動は反動諸政治に対する斗いの中で大きく進み、諸文化活動も生気を与えられよき伝統を守り抜いてきました。又今年は全学統一の実現への第一年でもありました。昨年七月の全学自活会の誕生は実にその先駆と申せましょう。

第八回開学記念祭はこの実り多き成果の集大成として特別の意義を持つものと考えられます。先輩達の残した伝統と鞭撻を受けて成長した各クラブの今日の姿を併せて紹介し諸兄と共に心からの祭典を祝いたいと思います。

記念祭が成功裡に終らんことを祈り、今後の捷みなき活躍を約して挨拶を終ります。

V 合唱 3.00 P. m.

御影分校グリーンクラブ

三つの子供の歌
ひまわりの花

チョコレート

夕やけ

風

御影分校混声合唱団

稜威
霜の旦

住吉男声合唱団

まつくろけのけ
ずいずいずっころばし

住吉混声合唱団

希望のささやき

指揮 大西克彦

清水 水水 さち ちと 子せ 詩
菅 野 浩 和 作 曲

白林 鬚雄 克一 三郎 作 詩
林 雄 一 郎 作 曲

指揮 橋田晋治

近藤 藤 朔 風 詩 詩
L. v. Beethoven 訳 曲
旗野 十 一 郎 作 詩
ボヘミア 民 謡

指揮 斎藤稔

日 本 民 謡

指揮 高橋登

ホ 緒 一 園 ソ ン 作 曲
平 井 康 三 子 郎 編 曲

VI 幻燈劇 4.00 p. m.

教職員組合御影学舎三支部有志

壁の花

○・ヘンリーの短篇より

STAFF

脚本・監督 成柴 瀬 不 二 雄
演音録 出 田 英 英 子
音 録 田 晴 子
影 田 芳 季
画 前 延 季
画 高 野 之
画 熊 元 和 晶 民 茂 朗

CAST

山 下 信
加 藤 子
三 浦 寿 美
熊 野 大 子
熊 野 大 子 茂 勢

(協力 神戸LAWN)

VII 管絃楽とソプラノ独唱 5.00 P. m.

神戸大学交響楽団

指揮 田中清三郎

歌劇「リュスランとリュドミラ」序曲

歌劇「ラ・ボエーム」より

私の名はミミ
さよなら

歌劇「ファウスト」より

宝石の歌

バレエ「白鳥の湖」より

チャイコフスキー

序 奏
ワ ル ツ
二幕のシーン
四羽の白鳥の踊り

パ・ダクシヨン
ファンファーレとワルツ
小さな白鳥の踊り
フイナール

ソプラノ 早川和子

グ リ ン カ

プ ツ チ ー ニ